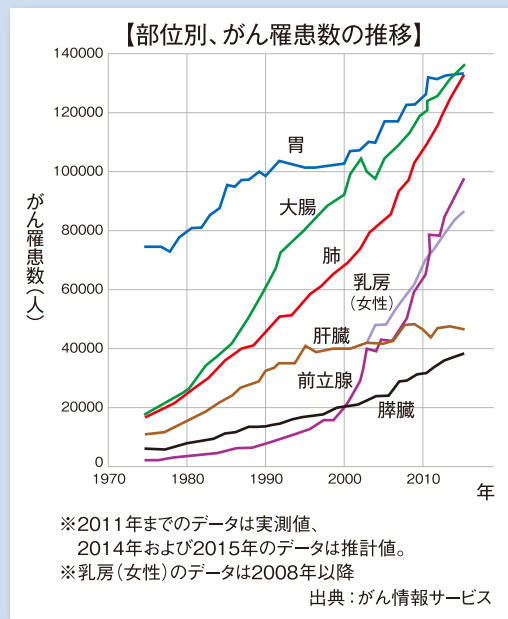


# 大腸CT検査のご案内

わが国における「大腸がん」の罹患数は約14万人でがんのなかで最も多い状況です。

日本では大腸がん検診として、便潜血検査が実施されていますが、要精密検査と判定された方の約半数が、2次検査を受診していないことが問題となっています。大腸がんは早期で発見されると5年生存率が90%以上と非常に良好な治療成績が示されています。



## 大腸CT検査の流れ

### 検査前日(ご自宅)

検査前日は、**検査食**を食べていただきます。

案内に従い大腸CT用バリウム・下剤等を服用していただきます。

### 検査当日(病院)

指定の時間までに来院してください。

診察をします。

CTにて撮影を行います。  
検査時間は10分程度です。

画像確認後、結果説明させていただきます。

2日前	「食物繊維入りのお水」を1日かけて1本(500mL)飲んでください。	
検査前日	朝食	 中華粥 <b>食後</b> 大腸CT用バリウム <b>食後30分以内</b> にお飲みください。 
	昼食	 カレーライス コンソメスープ <b>食後</b> 大腸CT用バリウム <b>食後30分以内</b> にお飲みください。 
	夕食	<p>※夕食は、<b>19時まで</b>にお召し上がりください。</p>  親子丼 お吸い物 <b>食後</b> 大腸CT用バリウム <b>食後30分以内</b> にお飲みください。 
	<p><b>21時までに</b> 下剤を水に溶かして飲んでください。</p>  クエン酸 マグネシウム製剤	
当日	朝食	<p>※検査当日の朝食は、<b>7時まで</b>にお召し上がりください。</p>  コンソメスープ

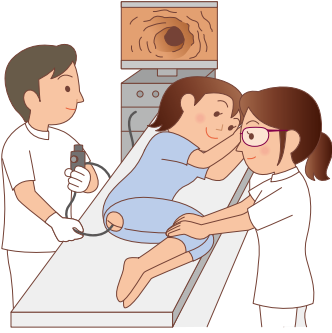
この案内は、検査案内の一例です。受診者や施設の状況に応じてご確認ください。

監修：医療法人 山下病院 理事長 服部 昌志 先生



# 大腸精密検査

## 大腸内視鏡検査



肛門から内視鏡を挿入し、大腸内を直接観察します。検査時間は、15～30分程度です。

\*

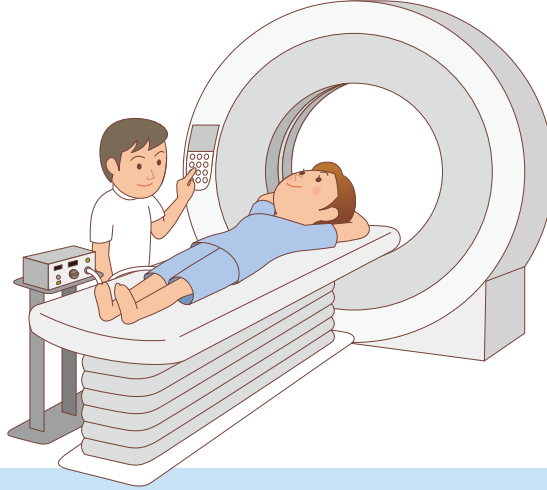
大腸内を空にするため、十分な量の下剤を飲みます。

\*

病変を見つけた場合、直接その部分を取って調べられます。



## 大腸CT検査



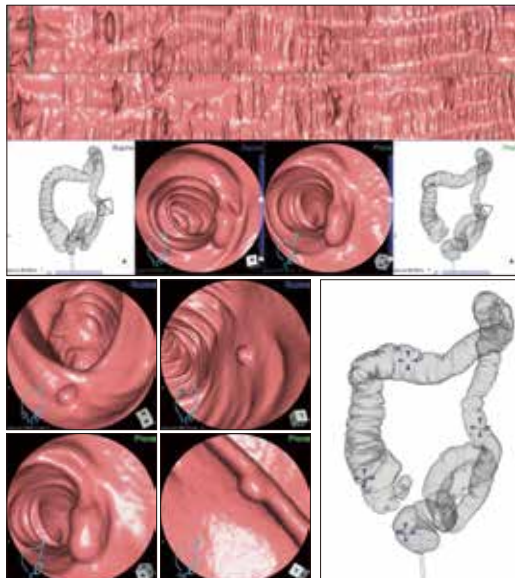
肛門から炭酸ガスを注入して、大腸をふくらませCTスキャナで撮影します。検査時間は、10分程度です。

\*

少量の下剤で検査が可能です。腸内は必ずしも空でなくても構いません。

\*

撮影したCTデータを画像処理し、大腸内視鏡検査、注腸X線検査と類似の画像を作成します。



## 注腸X線検査



肛門からバリウムと空気を注入し、大腸をふくらませX線撮影をします。検査時間は、15分～30分程度です。

\*

食事制限し、比較的少量の下剤を飲みます。

